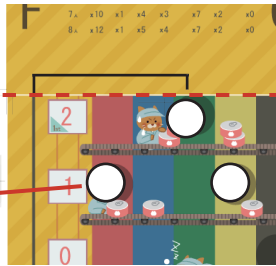


【準備1】

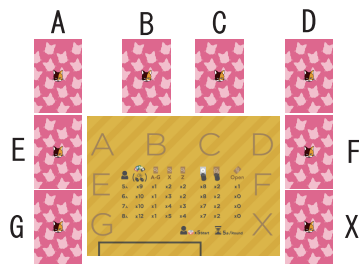
1. 各プレイヤーに ネコ缶を5ずつ配ります。残りのネコ缶は机の真ん中に置き、銀行とします。能力トークン(5枚)を、生産表の●のあるマスに置きます。生産表aの「2」の上を隠すように、生産表bを置きます。

生産表bをこの位置に合わせる

能力トークンを●に置く



2. うわさカードA~G、Xを種類ごとに分け、それぞれをシャッフルし、生産表の脇に並べる。(もし初めて遊ぶ場合は、うわさカード番号の横に★が付いているカードは箱にしまうことを推奨します) うわさカードZは、とりあえず適当なところに置いときます。



3. プレイ人数によって必要な猫カードの使用枚数が異なります。以下のように用意してください。不要なカードは箱にしまいます。

猫カード使用枚数

|    | ノーマル | ボス  | ねずみ |
|----|------|-----|-----|
| 5人 | 各色6枚 | 各1枚 | 各2枚 |
| 6人 | 各色7枚 | 各1枚 | 各2枚 |
| 7人 | 各色7枚 | 各1枚 | 各2枚 |
| 8人 | 各色9枚 | 各1枚 | 各2枚 |

【準備2】

4. 各プレイヤーに猫カード(ノーマル)を各色1枚ずつ配ります。残ったカードを全て混ぜシャッフルし、次のように配ります。余ったカードはこのラウンドでは使用しません、束にして机のわきに置いておきます。

猫カード配布枚数

猫カード(ノーマル)を各色1枚ずつに加え、余ったカードをランダムに次の枚数配る。

|         |    |
|---------|----|
| 5~6人プレイ | 3枚 |
| 7~8人プレイ | 2枚 |

5. うわさカード(A~G)から、それぞれ1枚ずつランダムに取ります。そしてXとZを(下表参照)規定枚数取ります。(余った噂カードZは箱にしまいます) 取ったうわさカードA~G、X、Zを混ぜシャッフルし、各プレイヤーに2枚ずつ配ります。 ※5人プレイの場合は、余ったうわさカード1枚を表を上机の真ん中に置く。

うわさカード(X, Z)使用枚数

|    | X  | Z  |
|----|----|----|
| 5人 | 2枚 | 2枚 |
| 6人 | 3枚 | 2枚 |
| 7人 | 4枚 | 3枚 |
| 8人 | 5枚 | 4枚 |

6. タイマーを5分にセットし、プレイ開始です。(初めて遊ぶ場合は7~8分にとると丁度よいです)

各ラウンドは2つのフェーズに分かれています。最初に「フリートレードフェーズ」、次に「決算フェーズ」が行われます。

【フリートレードフェーズ】

タイマーが鳴るまでの間、より多くのネコ缶を作ることを目的に、自由にカード交換を行います。禁止事項に触れない限り、何をしても自由です。 ※但し楽しくゲームをプレイできるよう最低限のマナーを守り、他人が不快にさせないよう気をつけて遊ぶことを推奨します。

禁止事項

- ・取引条件で嘘を言う(例:黄色カードと交換してと言いながら、青カードを渡すなど)
- ・カードやネコ缶を破る、捨てる
- ・カードやネコ缶を銀行や他プレイヤーから奪う

【決算フェーズ】

・全てのプレイヤーは交渉を止め、手札を全てオープンにします。  
・決算フェーズでは、【うわさ解決】【生産】が行われます。どちらともプレイヤーは何かをする必要はなく、うわさカードによるボーナス処理等と、猫カードをネコ缶への交換処理が行われます。

【うわさ解決】

・うわさカードをA→F→X→Zの順番で読み上げ、その効果を即時解決します。  
・生産表について、ラウンド1では、-1~+2までを、ラウンド2では、-1~+3までを使います。  
・能力トークンはラウンド1では+2、ラウンド2では+3を超えると-1に移動します。

【生産】

手札にある猫カードを、生産表が示す数のネコ缶と交換します。

【ラウンド終了処理】

1stラウンド終了時は、うわさカードを全て回収し、A~G、Xを山札に戻します。Zは適当なところにとりあえず置きます。猫カードも全て回収し、準備2で余ったカードと混ぜよくシャッフルします。生産表bを1stから2ndにずらし、そして【準備2】に戻り、2ndラウンドを始める準備に進みます。

【終了・勝利条件】

・2ndラウンドが終了した時点でネコ缶が一番多く集めたプレイヤーの勝利です。

【初プレイのためにアドバイス】

- ・最初は「うわさカードを集める、交換する事」をオススメします。
- ・カードとカードを1枚ずつ交換することは勿論、複数枚と1枚の交換をすると得する場合があります。
- ・カードやネコ缶を無料であげてしまうと、よい場合もあります。
- ・ネコ缶をカードの交換条件に使うのも一つの手です。
- ・能力トークンは頻りに動きます。今ある価値を信頼しすぎるのもよくありません。